

営業	製造	品保
小島	夏伐	鈴木

KE 1013	機器配線用耐熱ビニル電線 HV	平成20年05月26日改定 頁数 2-1 頁
---------	-----------------	---------------------------

1. 適応範囲
この規格は極東電線工業株式会社で製造する電子機器及び通信機器等の配線に用いる250V以下の耐熱ビニル電線に適用する。

2. 種類及び記号
種類及び記号は次の通りとする。

(種類) 機器配線用耐熱ビニル電線 (記号) HV

3. 特性
特性はJIS C 3306 5項により試験を行ったとき、表1のとおりとする。

表1

項 目	特 性	試験方法適用箇条
導 体 抵 抗	付表の値以下	5.3
耐電圧	水 中	500Vに1分間耐える事
	スパーク	4000Vに0.15秒間耐える事
絶縁抵抗	20	10M -km以上
常温の絶縁体	引張強さ	1.0 kg/mm ² 以上
	伸 び	100%以上
加熱後の絶縁体	引張強さ	加熱前の値の90%以上
	伸 び	加熱前の値の75%以上
難 燃 性	60秒以内に自然に消える事	5.11
半 田 付 性	絶縁体の収縮が2mm以下	*5.1
剥 離 性	40mm剥きだせる事	*5.2

4. 材料及び加工方法
材料及び加工方法は付表及び次の各項による。

導 体

導体はJIS C 3152(電気用スズメッキ軟銅線)に規定された銅線(以下TAとする)を集合撚りしたものとする。

絶縁体

絶縁体は、塩化ビニル樹脂を主体とする耐熱用ビニルコンパンドで4. の導体上に付表の値の±10%とし部分最小厚さは付表の値の80%とする。

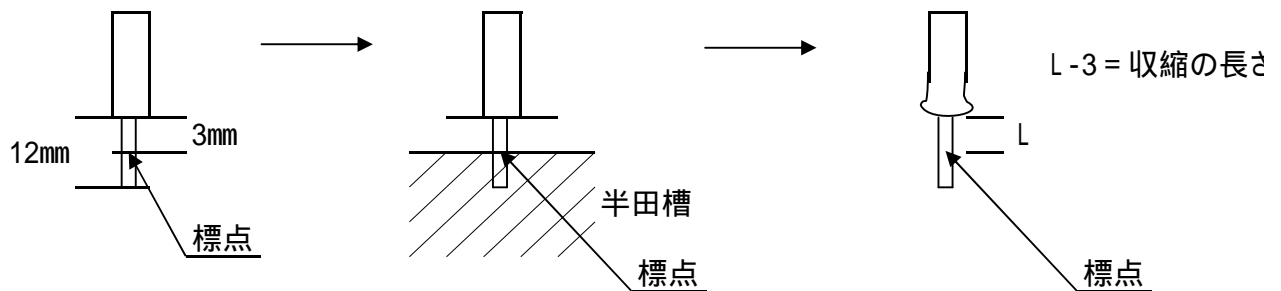
営業	製造	品保
小島	夏伐	鈴木

KE 1013	機器配線用耐熱ビニル電線 HV	平成20年05月26日改定 頁数 2-2 頁
---------	-----------------	---------------------------

5. 試験方法
試験方法は、JIS C 3306 5項及び次の各項による。

半田付性
半田付性は図-1のとおりサンプルを 320 ± 5 の溶解半田(60%)に5秒間浸し、その標点からの距離の差を測定する。

図-1



剥離性
剥離性はハサミにより約40mmが剥き出せる事。

6. 荷姿
荷姿は把巻とし、運搬中に損傷の無いようにPEテープで包装する。

7. 表示
荷札に、種別、品名、長さ、製造番号、社名を表示する。

8. 付表

導 体		絶 縁 体		導体抵抗	荷姿	
公称断面積 mm ²	素線数/素線径 本/mm	外径(約) mm	厚さ mm	(20) /km	把巻 長さ(m)	
0.18	7/0.18	0.54	0.28	1.10	109	500
0.3	12/0.18	0.75	0.40	1.55	64	200
0.5	19/0.18	0.90	0.40	1.70	40	200
0.75	30/0.18	1.10	0.50	2.10	25.5	200